

浄土平の星空

浄土平を囲む山々は、付近の町々の照明をさえぎり、星を眺めるのに理想的な環境となっており、大抵の晴れた日には、約 6,000 個の星、月、天の川、そして多くの惑星を、磐梯朝日国立公園内のこの場所から肉眼で見ることができるかもしれません。

夏季には、射手座、カシオペア座、オリオン座、魚座、そして、天の川を横切る夏の大三角形（アルタイル、デネブ、ベガ）といった多くの光り輝く星々や星座を見ることができます。7 月から 8 月には流れ星がよく見られるようになり、8 月 12 日・13 日頃から始まるペルセウス座流星群のピーク時にはとりわけ多くの流れ星を見ることができます。

浄土平天文台

天文学ファンは、浄土平天文台の口径 40cm のカセグレン式反射望遠鏡を通して、月や他の惑星や星々を間近に観察することができます。5 月から 10 月の毎週水曜日・土曜日には夜間の観測会が無料で行われています。流星群や日食・月食などの天文学的現象が起こる際には、特別行事が行われることもあります。

日中は、隕石の展示、惑星の模型、カセグレン式反射望遠鏡でとらえた高解像度の写真が用意されている 1 階展示室で天文学の知識を深めることができます。

銀色に輝くドーム型の浄土平天文台は、4 月上旬から 11 月中旬まで開館しています。浄土平ビジターセンターに隣接していて、営業時間は月により異なりますが、天文台は 2～3 時間の休憩をはさんで日中と夜間に開館しています。正確な開館日と入館時間については、事前にご確認ください。